



ホームページ開設しています!

半田クリニック 相生市

検索



健康に役立つ院長コラム、
定期的に更新中!



寒さが急に厳しくなり、感染症が流行する時期になりました。当院でも、最近「マイコプラズマ肺炎」と診断される方が増えつつあります。以前は主に子どもがかかる病気として知られていましたが、近年では大人の患者さんも増えています。マイコプラズマに感染してから症状が出るまでの期間（潜伏期）は 2~3 週間と風邪やインフルエンザの潜伏期間（数日程度）と比べて、かなり長いのが特徴です。症状は「微熱」「のどの痛み」「全身のだるさ」「頭痛」などで風邪と区別がつきにくい。ため初期段階では見過ごされがちです。典型的な肺炎とは違い 38℃以上の高熱になることはあまりなく、体のしんどさもそれほどではなく、痰も目立ちません。咳は発熱後 3~5 日から始まり、「コンコン」と乾いた咳が特徴で場合によりこれが長引くことがあります。治療には抗菌薬を用いますが、耐性菌もあるため使い分ける必要があります。風邪と軽視せずに早めに医療機関を受診してください。